

中尾ハナ（なかおはな）（1/2）

～おぼれた子を助け、命の炎、燃え尽す～

いまではみなさんの、どの学校にもプールがあり、水泳の学習や水遊びを楽しんでいますね。しかし、そのころは、どの学校にもプールはありませんでした。それで夏になると子どもたちは、川やため池で泳いでいました。そんな時代の昭和6年8月1日のことです。

その日は、数日間降り続いた雨が上がり、灼けるような暑い日でした。子どもたちは、待ちかまえたように近くの松浦川の川岸の船着場に集まりました。そこは、対岸の双水へ行く船の渡し場のあるあたりで、山本側の岸辺です。生い茂った桜並木や椋の樹が日よけとなり、狭いながらも砂地もあって格好の水泳場です。しかし、その日の川は、雨で水かさが増し、深みや急な流れが多く危険だということを、子どもたちはわかっていませんでした。

中尾ハナは、唐津高等女学校の4年生（今の唐津西高の1年生）でした。活発な生徒で、勉強もよくでき、スポーツ好きで、水泳が得意、それにバレーボール選手として活躍していました。

この日は、久しぶりに水着を持って家を出ました。川の土手を下りると、もう大勢の子どもたちの歓声が聞こえてきます。桜の木に登っていた男の子はハナの姿をみると、「お姉ちゃんがこらした。」と、おお喜びです。ハナは、子どもたちの人気者でした。

雨上がりの川は濁り、水かさが増しています。ハナは、子どもたちに、「用心せんと、ほんとうにおぼれるよ。」と注意しました。そして、ようやく岸辺で水着に着替えたころ、桜の木の上の男の子たちが叫びます。「お姉ちゃん、おぼれよーっ。」と。見ると川の中ほどに女の子が、手前で男の子が深みに足をとられそうになっています。ハナは夢中で川に飛び込みました。まず、男の子を浅瀬に押しやりました。つづいて、おぼれて苦しんでいる女の子を助けに向かいました。

浮き沈みしている女の子は、ハナが助けにきたので、しがみつきます。いくら水泳が上手なハナでも、しがみつかれては泳ぐことができません。ハナと女の子は浮き沈みしながら何度も川の水をのみ、息ができません。ハナは、やっと浅瀬まで最後の力をふりしぼり女の子を押しやりましたが、自分は力尽きて川に流されてしまいました。

～2/2へつづく～

分野 人物

地域 唐津

◎地図・写真・統計資料など



中尾 ハナ
(1915～1931)



松浦川山本双水付近
この辺りが船着場だった

(『郷土につくした人々』より)

◎引用・参考文献（出典）

◆『郷土につくした人々』
～ふるさと唐津の偉人たち～

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：
http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html

中尾ハナ（なかおはな）（2/2）

～おぼれた子を助け、命の炎、燃え尽す～

～1/2からつづく～

そのころになって、岸で見守っていた子どもたちは、このことの大変さを親たちに知らせに走りました。大人たちが駆けつけた時には、ハナの姿は見えません。ハナが見つかったのは、30分ほどたって、はるか下流の岸が突き出たあたりでした。医師も駆けつけ人工呼吸など試みましたが、生き返ることはありませんでした。身内の人はもちろん、鬼塚村の人達は悲しましました。

人々は、自分の危険も顧みず二人の子どもを救ったハナの行いに感動し、翌昭和7年1月に、「中尾ハナ子記念碑」と「観音像」を松浦川の川岸に建てました。そして、5月には、当時の佐賀県知事が祭文を捧げみんなで記念碑の除幕式をしました。その時、鬼塚村の人々の寄付で建てられた観音像の開眼式もしました。観音像は、ハナを思わせるような温和な顔で、今でも人々から、「お花観音さま」と慕われ、お参りされています。碑や像は、現在は国道沿いに安置されています。

その後、昭和50年頃まで、地域の人々は、ハナの行いに感謝すると共に冥福を祈り、「ハナ子祭」を行っていました。今では、助けて頂いた子どもたちの通っていた鬼塚小学校に受け継がれ、学校では毎年プール開きの前日、花を持ちより、「ハナ子祭」を行っています。唐津西高等学校の前庭には、ハナのレリーフの碑があります。碑には、「愛と勇気」と書かれており、毎年6月には西高でハナについての話がされています。

松浦川 岸辺に立てば ゆく水の
色もいたまし 君をしのびて
(唐津高等女学校小冊子より)

80年余りの歳月は、松浦川の景色を変え、水の流れを変えましたが、この流れの中で、命の炎を燃え尽した中尾ハナの精神は、今もなお、多くの人たちの心の中にすみ續けています。

分野 人物

地域 唐津

◎地図・写真・統計資料など



中尾ハナ子記念碑とお花観音様



鬼塚小「ハナ子祭」



中尾花レリーフ「愛と勇気」の碑

(『郷土につくした人々』より)

◎引用・参考文献（出典）

◆『郷土につくした人々』
～ふるさと唐津の偉人たち～

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467

■ホームページ：
http://tosyokan.karatsu-city.jp/hp/cnts_lib/index.html